

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 28 年度第 2 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会
2. 開 催 日 時	平成 29 年 2 月 14 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 3 時
3. 開 催 場 所	松阪市健康センター 2 階会議室
4. 出席者氏名	委員 16 名内 13 名
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	2 名
7. 担 当	松阪市健康ほけん部健康推進課 TFL 0598-23-1364 FAX 0598-26-4951 e-mail ken.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 平成 28 年度フッ化物洗口推進事業の経過報告
2. 平成 29 年度以降のフッ化物洗口推進事業について
3. 平成 29 年度のライフステージ別の取り組みについて

議事録・委員名簿

別紙

平成 28 年度第 2 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会議事録

事 項	発 言	内 容
開会 13：30	事務局	<p>お待たせいたしました。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、「平成28年度 第2回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会」を開催させていただきます。</p> <p>本日、皆様には、大変お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、健康推進課長の竹川でございます。議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず始めに、皆さまにお知らせいたします。</p> <p>本日の会議は、松阪市審議会等の会議の公開に関する要領の規定により、会議を公開とするものとし、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、あらかじめご了承下さい。</p> <p>また、本日は傍聴に、2名様がお越しいただく連絡をいただいております。</p> <p>本日の資料につきましては、事項書、委員名簿、フッ化物洗口推進事業報告、歯と口腔の健康づくり推進協議会専門部会報告、フッ化物洗口推進事業計画（案）、第2次健康づくり計画、平成29年度ライフステージ別の取り組み、以前お渡しさせていただきました歯と口腔の健康づくり基本計画の6ページ、11ページに誤りがありましたので差し替えの資料を配布させていただいております。ございますでしょうか。</p> <p>本日は、松阪保健所の植嶋様、松阪市立幼稚園長会の太田様、松阪市PTA連合会の境様が欠席となっておりますが、委員16名のうち出席者13名で、規則第6条により成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、今回の協議会には規則第7条に基づきアドバイザーとして三重県健康福祉部より成瀬様、栄養分野関係者として管理栄養士の馬場様にお越しいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開催にあたり、協議会会長よりご挨拶をいた</p>

13:35	協議会会長	<p>だきたいと思います。</p> <p>協議会会長宜しくお願いします。</p> <p>みなさま、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。町中では、今日はバレンタインデーということで、私たちは関係ないんですが若い男女が恋の告白でウキウキしているところだと思いますが、そんな中集まっていたら、今日も一日実りのある協議会にしたいと思います。よろしくご協力の程お願いしたいと思います。</p>
	事務局	<p>これより、事項書2の事項に入っておりますが、議事・進行につきましては、規則第6条により会長の協議会様へお願いし、進めてまいりたいと存じます。</p>
	協議会会長	<p>それでは、規則に基づきまして、私が議長を務めさせていただきます。</p> <p>それでは事項書2 平成28年度フッ化物洗口推進事業の経過報告を事務局よりお願いします。</p>
	事務局	<p>こども未来課の田中より報告させていただきます。平成28年度フッ化物洗口推進事業は松阪仏教愛護園、神戸保育園、わかすぎ第二保育園、三郷保育園の4園を始めさせていただきました。保護者説明会、園児指導、洗口開始日については、資料の通りとなります。事業を実施して良かったにつきましてご説明させていただきます。歯みがきをしっかりとるようになった。磨き残しなく丁寧に磨くようになった。泡を見せたいので競い合っている。自分の歯に興味を持って自分でも磨く意識が芽生えた。時計をしっかりと見れるようになった等がありました。今後の改善点については継続して実施していきたい、小学校でも継続してもらいたいという意見が上がっていました。</p>
	事務局	<p>幼稚園の経過報告を学校支援課よりさせていただきます。資料は保育園の下になります。平成28年度は中原幼稚園、伊勢寺幼稚園、掃水幼稚園で実施しています。保護者説明会、園児指導、薬剤での洗口開始日は資料の通りとなります。事業を実施して良かった点としましては、どの園でもしっかりとうがいをするようになったこと、また歯みがきを丁寧にするようになった。自分の歯に興味を持っ</p>

	<p>協議会会長</p> <p>委員</p>	<p>て歯みがきへの意識も高まったと聞いています。今後の改善点としては、いくつか出ておりましたが、先日開催されました意見交換会での説明や薬剤管理等についても各園での実施方法などを情報交換し交流をさせていただきました。</p> <p>鈴木委員、第一保育園の経過報告をお願いします。</p> <p>鈴木委員より2年目の経過報告を行う。</p> <p>主に2年目の報告になるんですが、資料1の裏側をご覧ください。第一保育園です。今年度は6月16日保育参観の日に保護者説明会を行いました。前年度は保護者説明会だけを夕方単独で行ったところ、出席率があまりよくなかったので、今年はたくさん集まっていただく行事とあわせて行うことで参加率を上げたいと思い、そのように計画しました。</p> <p>保育参観で部屋で保育を見ていただいた後、そのままの流れで遊戯室にて行いましたので、27人中27名の保護者の方に参加していただくことができました。園児指導は歯科衛生士の方々に来ていただきまして、新しく始める4歳児にしていただきました。保育室の中で、むし歯はこういうことをするとできますよとか、うがいの仕方などをエプロンシアターを使ったり、紙芝居風にしていただくことで、子ども達も興味をもってしっかり見ることができたと思います。この日は欠席児もいましたので24名の参加となりました。</p> <p>薬剤による洗口人数についてここで訂正ですが、途中入園児がおりましたので、4歳児の方は間違っておりまして、28人中27名の洗口人数となります。それに伴いまして、下の計も4歳児が91で実施が88、計の方も186人中172になると思いますので訂正をよろしくをお願いします。</p> <p>実施して良かった点ですが、5歳児の方は2年目ですのでしっかりと歯みがきとか泡の作り方も定着して、落ち着いて座ってできるという姿が見られるようになったと思います。4歳児の方はなかなかぎやかなクラスで、最初は落ち着いて座ってということは難しかったですが、給食を食べる速さもバラバラなんですけど、他の園でも書いてもらって</p>
--	------------------------	---

<p>13 : 45</p>	<p>協議会会長</p> <p>協議会会長</p>	<p>あつたと思うんですが、「長い針がこの時間になったら歯みがきとうがいをするので、ごちそうさします。」と言うことによって、子ども達も目安をつけてそれまでに食べるという姿が見られるようになってきたと思います。やはり一番大きな成果は、それぞれがごちそうさまをして部屋の片づけとか、まだ食べ終わっていない子の方へついたりすることで、歯みがきを一人一人しっかり見てあげることがなかなか難しいんですが、「この時間になったらします」ということでみんなが一斉にすることで、しっかりと磨き方とか歯ブラシの毛が開いてしまったりとか、今までそういうことすら目がいきにくかったんですが、そこら辺までしっかり見てお家の方に「そろそろ交換を」という話もできるようになって、それぞれの磨き方にも個性があって、力強く磨きすぎたりとか、逆に噛んでるだけで動いてないとか、一人一人の様子をしっかりと見るようになるようになったかなと思います。終わった後で「これくらい泡ができたよ。見て見て。」と保育者に見せに来たり、「すぐく泡ができてきたね。前より増えたんじゃない？」ということで、また張り合いを持ってする姿なども見られるようになってきたと思います。</p> <p>来年度に向けての改善点は特にはないんですが、3歳児がまた4歳児になるということで、園では週に1回タテ割りで給食を食べる日がありますので、その時にタテ割りのままで4・5歳児と3歳児が混ざったクラスの中で、4・5歳がフッ化物洗口をして3歳にも見てもらうということをしてきたいなと考えています。</p> <p>ありがとうございます。今年始められた施設と2年目に入られた施設をご説明いただきましたが、それに関して何かご質問なりご意見などございますでしょうか。</p> <p>2年目になると上のお兄ちゃんお姉ちゃんもやっているの、それを見ながらというのは慣れさせるのには非常にいい方法かなと思います。また、年度初めには私たちの方でも衛生士に指導にうかがわせますので、また今後もよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>次に、協議事項 3の(1)平成29年度以降のフッ化物洗口推進事業について入りたいと思います。</p> <p>①～③について事務局より説明を願ひます。</p>
----------------	---------------------------	---

	事務局	<p>歯と口腔の健康づくり推進協議会専門部会の報告をさせていただきます。お手元の資料②をご覧ください。こちらの専門部会は小学校へのフッ化物洗口事業の導入を行うにあたって具体的なことを協議していく場として開催させていただきました。このような専門部会を開催することは当推進協議会の規約第8条にも記載されております。委員は7名で当協議会の委員からの選抜とアドバイザーとして三重県健康づくり課の歯科衛生士、奥野様にもご参加いただきました。事務局として担当部局の学校支援課と健康推進課から出席しております。専門部会は今年度、10月6日、11月21日、12月15日の計3回開催させていただきました。</p> <p>1 回目の協議内容は学校支援課からの小学校におけるフッ化物洗口事業実施計画案の提案と意見交換、先進地視察、研修会について。2 回目の協議内容は小学校におけるフッ化物洗口事業実施年度と実施時期、初年度実施学年、実施小学校の選定についての意見交換、先進地視察、研修会について。3 回目の協議内容は学校支援課からの小学校におけるフッ化物洗口事業実施計画案について学校歯科医からの意見、要望の提案、歯と口腔の健康づくり推進協議会への提案事項の確認について協議を行いました。専門部会での協議で決定された事項については、小学校でのフッ化物洗口事業の開始年度は平成30年度からとすること。平成30年度は資料に記載の松江小学校、伊勢寺小学校、松ヶ崎小学校、中原小学校、小野江小学校、鶴小学校の6校で実施していくこと。平成29年度を準備期間とし先進地視察や具体的な実施方法について実施校の担当者と協議を行うこと。初年度については1年生のみの実施とし、順次2年度目以降は1学年ごと増えていくやり方で進めますが、基本計画の中間年にあたるタイミング、あるいは実施校が軌道にのってきたため、前倒しで進めていくなどの判断をしたタイミングによりまして、実施校の意見を聞きながら導入学年を増やしていく協議を行っていくということでございます。また、平成31年度以降の導入小学校の基本的な選定の考え方ですが、今後フッ化物洗口を導入していく保育園、幼稚園の子が小学校に上がった際にスムーズに導入していけるという点を重視しまして、園が導入していくエリアにおける小学校を順次開校させていくというのが基本的な考え方であるということです。以上が専門部会での協議決</p>
--	-----	---

	事務局	<p>定事項でございまして、この推進協議会で審議していただくことになりました。以上専門部会の報告となります。</p> <p>②保育園の取り組みについて こども未来課では平成 24 年から、平成 26 年度には 6 園、平成 27 年度には 2 園、平成 28 年度には 4 園で開始をさせていただきました。平成 29 年度は三雲北保育園、山室山保育園、大河内保育園、西保育園の 4 園で開始させていただきたいと思います。平成 30 年度以降は未定ですが、随時 3 園ずつの開始となり、最終的に計 32 園の実施を目指しております。</p>
	事務局	<p>③幼稚園・小学校の取り組みについて 幼稚園の方は、資料③にありますように平成 29 年度は鎌田幼稚園、松江幼稚園、三雲北幼稚園の 3 園で考えております。実は、平成 34 年にあります機殿幼稚園は園児数の関係で休園になる予定ですので、平成 33 年までで全ての幼稚園についてはフッ化物洗口が実施されるということになりますし、これも中間見直し等でもう少し早めるということも起こり得るかもしれません。一応そういう計画でやっております。そして小学校の方ですが、竹川健康推進課長の方から説明しました専門部会での決定事項を、もう少し補足させていただきたいと思います。みなさんの机にあるカラープリントで、松阪市全体、飯南飯高の方はカバーしておりませんが、隣の校区と重ならないようにそれぞれ小学校区が色で区切っております。学校支援課としては、専門部会のところで、例えば一番上の方に小野江小学校、鵜小学校とありますが、小野江小学校が橙色、鵜小学校がグレーで区切られています。ここは平成 29 年度に三雲北幼稚園、三雲北保育園がフッ化物洗口します。そうすると、小野江小学校、鵜小学校に行くそれぞれ 6 割 7 割の児童が、三雲北幼稚園、三雲北保育園の園児で構成されるということなので、フッ化物洗口を小学校で導入するにあたって、保護者の方への説明、理解がスムーズにいくのではないかとこの考え方に基づいて、小野江小学校、鵜小学校と更に中原小学校、松ヶ崎小学校、伊勢寺小学校、大河内小学校、松江小学校の 6 校を提案させていただいて、その専門部会で色々考えていただく中で、歯科医師会の方からも園医の</p>

<p>13 : 55</p>	<p>協議会会長</p>	<p>先生の状況とかからもご理解をいただいて、専門部会でその6校を決めさせていただいたという経緯です。例えば、徳和小学校は平成24年から29年度に保育園、幼稚園で、そこに書いてあるようなつぼみ保育園以下4園で実施されるわけですが、実は徳和小学校に入ってくる児童というのは20の保育園、幼稚園から来るといような状況がありまして、この4園だけでは入学する児童のおよそ3割、4割ほどであるということなので、もう少し進まないと保護者の理解を全体に届けにくいのかなというようにことの中で、まずは6校でやっというということで、それも1年生から平成30年度は導入させていただこうということで専門部会で話し合いさせていただいたという次第です。当然、保育園、幼稚園が進んでいきますが、それで全てがカバーできる、随時できるとはなりません、そういう風に多くの小学校が導入を始めれば、松阪市全体で条例もありますので、保護者の方にも理解いただいて、年度の計画の途中からはかなり前倒しの見直しも進められるかなと考えております。それから各小学校、まずは1年生から導入をしていただいて、その後はその学校の状況によって随時学年を2年3年とあげていく場合もあれば、3年まで一気にやろうとかというのは学校の規模によってもだいぶ違いますので、その辺は平成29年度の研修と、30年度の実施をみて決めていただけるものかなという風に考えております。</p> <p>ただいま事務局より説明のありました平成29年度以降のフッ化物洗口推進事業について、ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>(質疑応答)</p> <p>資料③のこども未来課からの報告の中で、保育園の目標値が94%、フッ化物洗口実施が全園で32園になっていますがこれは、どのように理解すればよろしいですか。普通なら100%になるはずが、どうして94%なのか。細かいことかもしれませんが…</p> <p>保育園は公立と私立がございまして、私立保育園の中では一部の保育園さん側で実施をしないというご回答をいただいておりますので、このようにさせていただいております。</p>
	<p>委員</p>	
	<p>事務局</p>	

	委員	<p>わかりました。</p> <p>それから、具体的に飯南飯高地区についての幼稚園、保育園の配備というのが私は少し知識にないのですが、そこら辺の組み立てもなされているのでしょうか。あるいはそれに伴って、学校支援課さんからの小学校での実施の組み立ての中で、飯南飯高地区は後になったりするようになるのでしょうか。そこら辺の見立てはいかがなものか教えてください。</p>
	事務局	<p>飯南飯高地区ですが、公立保育園が1園のみです。現時点では資料の通りとなっておりますが、今後については教育委員会や小学校と協議しながら計画を立てていきます。</p>
	委員	<p>ちなみにその1園の公立保育園はなんという保育園ですか。</p>
	事務局	<p>資料からいきますと平成31年度のところにあります、やまなみ保育園が飯高地区の公立保育園です。平成34年度のところに飯南管内の公立保育園で飯南タンポポ保育園、飯南ひまわり保育園の2園となります。</p>
	事務局	<p>小学校の導入のことについて。先程、保育園の状況を説明していただきましたと同時に、幼稚園については飯南飯高にございません。そういう中で、小学校への導入も一番初めの段階では6割、7割という学校をターゲットにして導入を進めますが、先程の説明でも言わせていただいたように、導入が進んでいけば、幼稚園、保育園で経験していなくても、自然と保護者の方々は松阪全体がそういうフッ化物をやっているんだということの理解をいただいて、早い時期から飯南や飯高の小学校へも導入が可能かと思えます。そこら辺は、こども未来課、保育園、幼稚園と相談しながら、そういう後になってしまわないようなことも考えてやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
	協議会会長	<p>よく理解できました。出来るだけ健康格差がでないように、各地区でみてあげればよいなと思っておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>この専門部会に出席させていただいておりました。11月</p>

委員		<p>21日の会議だったかと思いますが、実際に平成30年度からフッ化物洗口が開始されるということだったわけですが、概ね秋口くらいからというお話があったと思います。平成30年度いつ頃から開始というのは、秋口くらいという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局		<p>専門部会でも、おおよそですが、ある程度決定を得たわけですが、今の段階ではその秋というわけでございます。</p>
協議会会長		<p>他になれば、今日は三重県から成瀬主幹に来てもらっていますので県の補助事業についてお話しをしていただければと思います。</p>
アドバイザー		<p>歯科の事務をやっております。今年度は予算規模9000万くらいで歯科の事業をやっております、その中に視察とか幼保のフッ化物洗口とか施設へ行ったりとか色々やります。あと、歯科医師会、歯科衛生士会、三重大学に委託しております。新聞にも出ておりますように、来年度は予算が厳しいということですが、今年の何割か減の予算で組み立てております。国の方向としては、2025年の団塊世代が後期高齢に入るのを目指して、医療とか介護とか住まいとか色んなものを含めて総合的に見直しています。要するに医療とか介護の手が足らなくなる、ベッドが足らなくなるので何とかしないといけない、在宅を進めないといけない、ということでそちら寄りの予算になっておりますが、中身的にはそんなに変わらずに組んであります。あんまり言うとなんか齟齬が出ますが、補助金や基金の使い方としては後期高齢者を何とかするという風に向いてますが、中身的には同じように組ませていただきますので、特に何かを切ったということではなく、フッ化物洗口もやっていきますので、また協力して頂きたいなと思っております。よろしくお願いたします。</p>
協議会会長		<p>後期高齢の方が健康に暮らすには、子どもの内から健康にしないといけないので、ぜひよろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございます。 以上、協議事項についてご審議いただきました。</p>

<p>14 : 05</p>	<p>事務局</p>	<p>委員の皆様ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>次に、協議事項 3の(2)平成29年度のライフステージ別の取り組みについて審議に入りたいと思います。 事務局より①～⑥について説明を願います。</p> <p>① 第2次健康づくり計画について健康推進課より説明。 健康推進課の糸川です。第2次松阪市健康づくり計画について説明させていただきます。第2次健康づくり計画は、健康増進法にもとづく市町村健康増進計画で、国で進める「健康日本21」の地方計画です、平成29年度3月に策定の予定です。第2次健康づくり計画は、市民の健康づくりを推進するための具体的な計画となります。計画の期間は、2017年度 平成29年度から、2023年度までの7年間を計画期間とします。資料4をご覧ください。 計画の37ページ、計画の体系です。計画の基本理念を「みんなが輝く いきいき健康なまち」とします。基本方針として1. 元気なからだでは、6つの分野で望ましい生活習慣の実践と、生活習慣病の重症化予防に取り組みます。2. 笑顔で子育て（松阪版ネウボラ）では、妊娠・出産・子育ての途切れない支援をめざします。3. 健康なまちづくりでは、地域の力を活かした健康づくり活動を推進します。 (4) 歯・口腔の健康 の分野では、⑨「歯みがき、食習慣、歯科健診でむし歯ゼロ」⑩「生活習慣の見直しで、歯周病を予防しよう」を行動目標としました。次ページです。計画の52ページから、歯と口腔の健康づくりの行動目標と取り組みになります。「歯みがき、食習慣、歯科健診でむし歯ゼロ」の行動目標の指標は、むし歯のない3歳児、6歳児、12歳児の割合としました。これらは全国的に改善傾向がみられていますが、松阪市では全国を下回っているため、今後も改善を図ることをめざします。「生活習慣の見直しで歯周病を予防しよう」の行動目標では、食後の歯磨きや歯間清掃用具の使用、定期健診ともに男性の意識が低く課題があるため、指標は「歯間清掃用具を用いる習慣のある人の割合」とし、55%をめざします。また、「定期的に歯科健診を受診している人の割合」については60%をめざします。</p>
----------------	------------	---

	事務局	<p>「歯と口腔の健康づくり基本計画」の指標は、第2次健康づくり計画のモニタリング指標とし、「歯と口腔の健康づくり基本計画」と整合性を図り、連携しながら推進していきます。</p> <p>② 乳幼児期の取り組みについて健康推進課・こども未来課学校支援課より説明。</p> <p>平成29年度の乳幼児期の取り組みについて健康推進課よりご説明させていただきます。お手元の資料⑤をご覧ください。4月1日からは新健康センター「はるる」が運営開始となります。これまで同様幼児健診、健康教育、相談等において保護者への仕上げ磨きや家庭用フッ素利用、おやつ指導を実施していきます。これまで行政の取り組みとして歯科健診は1歳6か月で実施しその後3歳6か月まで歯科健診を受ける機会がありませんでした。1歳6か月では殆どみられないむし歯も3歳6か月の時点では、約20%の子どもにむし歯が出来ている状況を踏まえ平成30年からは、「健康センターはるる」「嬉野保健センター」の2会場において、集団での2歳児歯科健診を計画しています。こちらの健診では歯科健診、フッ化物歯面塗布、歯科保健指導、その他、食生活の指導や発育の観察を2歳6か月児対象に行い幼児期の発達の確認やむし歯予防対策として取り組んでいきたいと考えています。そのため平成29年度は具体的な実施方法について関係者間での協議や準備を行っていきます。今年度中、来月になりますが近隣の市の方の先進的に取り組まれている自治体へ視察も予定しています。</p> <p>保育園の3歳児クラスにおいてうがいを実施させていただき、4歳になったら自分達で歯みがきもできますので歯みがき、5歳児クラスでは4歳児もそうですがフッ化物洗口の導入をしていきたいと考えております。</p> <p>こども未来課の保育園の状況と同様です。幼稚園でも各園において、特に3歳児はうがい指導、3歳児でも三雲北幼稚園などブラッシング指導を取り入れているところもありますので、ブラッシング指導は4歳、5歳を中心に3歳児も実施をよりスムーズにやっていきたいということと、4歳児5歳児のフッ化物洗口の段階的な実施。先程来年度は3園と</p>
	事務局	
	事務局	

	事務局	<p>申し上げましたが、そういうところに取り組むということです。なお、学校支援課ということで書いてありますが、平成 29 年度は松阪市の組織機構が変わる関係で、幼稚園もこども未来課が所管するということになりますので、ご承知おきください。</p> <p>③学齢期の取り組みについて 小学校においては、平成 30 年度のフッ化物洗口の導入に向けて研修および啓発活動を行なっていきたいと思います。特に予定されている 6 校を中心にとということですが、全体的に全市的にフッ化物洗口のことを取り上げていきたいと思っていますし、各小中学校における実態に応じた歯みがき指導の充実に向けて取り組んでいきたいと思います。学校規模によって、全ての全校児童がブラッシング指導しているところもあれば、手洗い場等の関係で全員ができていないというようなこともありますので、そこら辺は学校支援課ということではなくて、施設整備の部分で教育総務課とかと連携して進めてまいりたいと思います。なお、この学校支援課と書いてありますが、これも組織機構が変わる関係で平成 29 年度からは学校教育課が担うことになりますので、ご承知おきください。よろしく申し上げます。</p>
	事務局	<p>④成人期・妊娠期の取り組みについて 妊娠期の歯科保健の充実を図るため平成 30 年からの医療機関委託方式での妊婦歯科健診の導入を考えています。そのため平成 29 年度は妊婦歯科健診の具体的な実施方法について関係者間での協議や準備を行っていくとともに合わせてこれまでの歯周病検診の実施方法についても国の基準に合わせて見直しを検討していきたいと考えています。また第 2 次松阪市健康づくり計画の啓発とともに、健康教育・出前講座を実施していきます。新健康センター「はるる」において新たに成人対象の健康講座として「はるる健康セミナー」を開催していきます。その中で歯と口腔の健康づくりについても、講話を中心に実施していきます。</p>
	事務局	<p>⑤高齢期の取り組みについて 先程、お話がありましたように、2025 年問題というものが結構課題となっています。介護や医療の人材が十分でない、提供体制が確保できないという風な状況になるにあた</p>

	事務局	<p>って、お元気な高齢者さんになるべく元気なまま年を重ねていただけるように、健康寿命の延伸というものが最大の目標になるであろうという風に考えております。地域包括支援センターというのが松阪市は5か所委託をして運営していただいておりますので、そちらの地域包括支援センターとともに市の方も介護予防への関心を高めるということで、全ての高齢者さんを対象にした教室等で普及啓発に努めてまいります。その教室においては、歯科衛生士会の先生方にご協力をいただいて、丁寧にご指導をいただいている状況ですので、今後も力を合わせて一緒にお願いしていきたいと思っております。それから、高齢の方が地域で活躍していただける社会環境がある方が元気だという指標もありますので、そういった方々の活躍の場として介護予防のサポーターの養成というのを継続的に行っていきます。これだけ介護予防が大事なんだよ、お口のことに関心を向けるのが大事なんだよというのを、お一人お一人の身近な方から広めていただくという地道な活動になりますが、定期的に進めてまいります。あとは、各地域の方で色々な集いの場があり、このような集いの場で今までの介護サービス、専門的な介護サービスに頼るだけではなくて、住民さんの自らのお力を合わせた中で集いの場を作っていくながら、みんなで一緒に元気が保てるような機会への指導、これも歯科衛生士会の先生方の指導とご協力をいただきながら、啓発に取り組んでまいりたいと思っております。</p> <p>⑥障がい者、要介護者の取り組みについて</p> <p>要介護者の部分については、高齢者支援課および介護保険課の部分になります。介護保険制度の仕組みの中で動いている事業所さんで提供いただくサービスとあわせて、高齢者支援課の部分では家庭介護教室というのを市民病院さんと連携して年に1度開催しております。その中では要介護状態の方々への口腔ケアの重要性ということで、具体的な指導方法だとか、まだそこまではいかないけれどという方々に向けて、いかにそれが重要かということを普及啓発をしていきます。また、各専門職の皆さん方の連携を進めていくという部分においては、地域包括支援システムの構築に向けてそれを推進するための会議や多職種の勉強会というのが動いております。今日ご参加の先生方にも随分ご協力をいただいている状況もありますので、それを</p>
--	-----	--

14 : 25	事務局	<p>重ねながら口腔ケアの充実をはかっていきたいと考えております。</p> <p>障がい者の取り組みについては、「障がい福祉のしおり」という障がい者の方に制度、サービス等を説明する案内の冊子がありまして、それを活用した「三重歯一トネット」の周知を中心にやっていきます。それと同時に生活相談支援の中で、職員もしくは委託事業者等で訪問の相談もありますので、相談時にはより一層周知していくということです。もう1つが、子ども発達総合支援センターそだちの丘が10月から始まりまして、その中でも歯科健診と歯みがき指導を2回、現在でも2回実施していますが引き続き進めていくということです。よろしくお願ひします。</p>
	協議会会長	<p>平成 29 年度のライフステージ別の取り組みについてご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>(質疑応答)</p> <p>歯科医師会としましては、高齢期の方に対する取り組みとして、今現在口腔ケアステーション等で訪問口腔ケアを行っております。これからどうしても高齢者の方が増えてくる、寝たきりの方の誤嚥性肺炎が特に注目されています。そういうのを予防する意味でもうちがあるかと思ひますので、歯科医師会としましてはそちらの方も率先して行っていきたいと思ひます。</p>
	委員	<p>寝たきりの介護者の方の死因の大部分を占めている誤嚥性肺炎、これを予防するためには本当に口腔ケアが最大の効果を発揮することが証明されておりますので、今後我々も本当に全員で高齢者の方の口腔ケアを進めていきたいと思ひますので、また他職種で一緒になる職員の方々ご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
	協議会会長	<p>障がい者（児）の歯科医師会の取り組みについて、前回もお話させていただいたんですが、再度追加もしくは補足としてお話させていただきたいと思ひます。3年程前に松阪市の障がい者計画の策定会議があり、そちらの方に歯科医師会の方から委員として出席をしておりましたが、痛感したのが、出席をしておられた方々と私どもの相互理解、意</p>

	協議会会長	<p>思疎通がうまくいっていなかったということでした。それを踏まえて現在歯科医師会としては、障がいを持った方々への取り組みについて計画をたてております。近々講演会なども行われると聞いておりますので、事業として進めてまいりたいと思います。また、先程ご説明いただきました「三重歯—トネット」ですが、これは障がい者計画策定会議の席で、お困りの皆様についてもどうもあまり周知がされていなくてご利用があまりうまくいっていなかった、またご利用された方々からも色々ご不満の声が多かったという風な厳しい声も聞いておりますので、三重県歯科医師会としても改善をしておると聞いておりますので、また動き等がありましたらご説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>障がい者の方に関しましても「三重歯—トネット」をなかなかうまく利用してもらえてないのが現状でありまして、この松阪地区においても我々の力不足、努力不足で、障がいを持つ方にかかなり迷惑をかけているのは重々承知しております。我々歯科医師会でも今後もっと専門職の方をスキルアップして、ここの地区に住む障がい者の方が安心して治療を受けられるような体制を整えようとしておりますので、また私たちの方も頑張りますのでご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>周産期といいますか、乳幼児期あるいはそれに付随します妊娠期について、これから歯科医師会も考えていかなくてはいけないと思っております。むし歯予防は、口腔機能の維持の1つであります。これは将来にわたってずっと継続することです。まず、歯の生える前の離乳期あるいは授乳期あたりから、子どもへのおっぱいの与え方であるとか、離乳期にあたっては足をブラブラしないでちゃんと着座して食事をさせることによって、首の座りから口腔機能の維持・向上ということもありますので、そういったことも保育園の先生やこども未来課さんの方とも、松阪市の計画に沿ってそういうボリュームアップも考えておりますので、また色々教えていただきたいと思います。そしてそれらを受けられるあるいは行事をされるのは若いお母さん方ですので、お母さん方のむし歯予防それから歯周病、歯肉炎の予防ということによって子ども</p>
	委員	

	協議会会長	<p>達の栄養摂取、育ちというように循環していくのではないかと考えておりますので、またそういう点で示唆いただけるようお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。 以上、協議事項についてご審議いただきました。 委員の皆様ご承認いただけますでしょうか。 承認ありがとうございます。</p>
	協議会副会長	<p>歯と口腔の健康づくり事業につきましては、行政の取り組み、各機関の連携は言うまでもなく、今日ご出席の委員のみなさま方もそれぞれの分野における健康づくりの推進をお願いしたいと存じます。 各委員の皆様からも取り組みの推進に向けて一人ずつ、ご意見を願います。</p> <p>小学校の方のフッ化物洗口について、もっと早く始められないかという声もあったんですが、色んな準備、保護者の理解、学校の設備等ということも丁寧にしていきたいということもご理解いただきたいと思います。小学校長会の方でも周知してみんなでやっという意気込みをしておるところです。今後ともよろしく願います。</p>
	委員	<p>2年間委員をさせていただき、ありがとうございました。最初の第1回は本当にドキドキしながらどんな感じでスタートしたらいいのかと思っていましたが、この場に居させていただくことで色んなことを経験させていただきまして、私自身勉強させていただいたと考えております。平成30年度からフッ化物洗口が始まっていくわけですが、フッ化物洗口が実施されることが最終目標ではないはずで、子ども一人一人が将来に向けてしっかりと健康自立ができるということが最終目標であると思いますので、私たち教職員としてはそのところもしっかりと献身的に頑張っていきたいと考えておりますので、何かと健康に関してこういった場で色々話し合われていくことは大事なことだと思いますし、なかなか健康はみなさん大事だといっても何となく二の次にされていくような感じもしておりますので、こうやって色んな各方面の方々のアドバイスもいただいて話し</p>

	委員	<p>合われていくということはとてもありがたいと思いますので、フッ化物もスタートしたら色々なことがまた出てくると思いますので、その時はご協力いただけたら本当にありがたいと思います。2年間ありがとうございました。</p> <p>1年間ありがとうございます。この委員にならせていただいて、現場にいるとなかなか勉強しないことも色々勉強させていただいて、教えていただいて、本当に自分のためになったなあと思っています。また小学校の方でも再来年度から本格的な実施ということで、来年度1年間じっくりと時間をかけて現場の準備を行っていくということで、より安心感ということも出てくるのかなという風を感じています。本年度こういう計画を立てていただいてよかったなと感じておりますが、また先程山川先生も言われましたが、フッ化物洗口をすることがゴールではなくて、子ども達がより健康になるようなことを今後も考えていけたらなと思っています。また導入に関しては色々教えていただいて、やっていけたらなと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今年度からフッ化物洗口を始められた神戸保育園さんから、インフルエンザの発生が二ケタ人数いなくて少なくなっている、フッ化物って大したもんだな～と言ってみえました。うちの園でもやはり他の園より少なくなっていると感じています。健康センターの方から、ネウボラの関係で子育て支援センターで育児相談や身体計測をしていただけるというお話がありました。子育て支援センターを利用される保護者の中には色々な悩みを抱えている方がみえるので本当に助かるなと思います。また障がい児のお子さんをネウボラで継続して見守っていただき途切れない支援をしていただきたいと思います。</p> <p>昨年からフッ化物洗口を始めさせていただいています。歯科医師会の先生や専門機関の方から色々サポートをしていただので安心して進めさせてもらっています。ライフステージ別の取り組みを聞かせて貰って保育園でも取り組んでいけることがたくさんあるなと思いました。小学校の方でも今後継続していってもらえると聞いて嬉しく思っております。</p>
	委員	
	委員	

	委員	<p>高齢期の歯の健康と言うことで、地域で何かできないかと思っていましたところ昨年、第4包括支援センターより「元気ゆずりは教室」をしませんかと言うお話をいただきました。私も老人会の役員をしていますので市民センターが窓口となり老人会を対象に地域の方にも声を掛けて5回シリーズの教室を開催させていただきました。歯科衛生士会の方々や健康センターからも保健師さんに来てもらったりして大変好評でした。良い話は1年で終わるのではなく何度聞いても良いと思うので是非2年目も開催していきたいと思っています。色々と教えていただきありがとうございました。</p>
	アドバイザー	<p>明後日開催されます学校歯科保健先進地視察について少しご紹介させていただきます。岐阜県の瑞穂市穂積小学校へフッ化物洗口事業の見学に行ってきます。当日は朝日大学の磯崎教授にも講演をお願いしておりますので今日の資料としても付けさせていただきましたので参考になさってください。松阪市さんはフッ化物洗口事業については三重県の中でも先進地としてこの事業に取り組んで見えて三重県としても注目しています。三重県全体の補助事業のモデル施設の9施設の内7施設が松阪市内の施設となっています。地域の偏りがどうかという考え方もありますが、松阪市が進んでいくことで周りの市町へも普及していけばと考えています。今日は順調に進んでもらっている松阪市の状況を知っていただきたいと思い傍聴に三重県教育委員会からも担当者が出席してもらっています。</p>
	栄養分野関係者	<p>こちらの協議会では歯と口腔の健康づくりについて熱心に協議されているとお聞きしておりましたので協議会会長の計らいで栄養分野の関係者としてこちらの協議会に参加させていただきました。口から食べることの大切さや有効性はすでに立証されていることですが、噛めない子どもも増えていたりします。口から食べて健康になるということがこれから大切になってくると思います。その為にも健康な歯を持っているということは大切になってきます。私の立場からも何かご協力できることがありましたら是非ご相談いただければと思います。</p> <p>衛生士会としてフッ化物洗口事業に参加させていただきます</p>

	委員	<p>ますが、この事業で健康格差をなくすことで家庭の都合で最後まで治療を続けることができないお子さんの歯を守っていくこともできる素晴らしい事業であると思うので今後も是非進めていってもらいたいと思います。障がい者施設でも保護者の方にお子さんの歯についてアドバイスさせていただく機会もあり障がい者の歯の健康にもこれから取り組んでいきたいと思っています。また高齢者の方を対象にいつまでも自分の口から美味しく食べて健康に楽しく過ごしてもらえよう介護予防教室を行っています。そのような教室でもお孫さんの歯の健康を守るためにフッ素が有効であるということ伝えていきたいと思っています。</p>
	委員	<p>私たちは幼稚園や保育園のフッ化物洗口の園児への歯みがきやうがいの指導に関わらせてもらっています。4歳児から5歳児さんになると本当に上手にうがいができるようになっており、そのようなお子さんが小学校で上手にできないというようなことは、まずないのではと感じています。小さいころから口腔意識を高めたお子さんが将来大人になって子育て、介護をするようになって、高齢者になった時、健康な自分の歯であること目指すスタートが切れたのではないかと思っています。今後もこの様な場を活用して皆で話し合った行ければ良いと思います。</p>
	委員	<p>薬剤師の立場から申しますと、フッ化物洗口に関しましては幼稚園、小学校には学校薬剤師が居ますのでフッ化物の適切な使用方法や保管方法についてはご相談いただければと思います。また、高齢者においてポリファーマシー（多薬剤処方）が問題になっています。口腔に関しては高齢者がよく服薬する薬の中には口腔の乾燥に影響が出るものも多くありますので、お困りの方はお近くの薬剤師にも相談いただき環境を整えていきたいと思っています。また摂食嚥下補助食品等についても取り扱い知識がありますのでご相談いただければと思っています。</p>
	委員	<p>条例ができ行政で計画も作っていただき、今後関連する団体と協力して子どもから高齢者が安心して暮らせる健康なまちづくりが進めていけるよう協力していきたいと思っています。鈴鹿市で子どもの医療費の窓口負担を無料にされると聞きました。松阪市でも実質は無料ですが窓口では一端</p>

	事務局	<p>支払いをしなければならないシステムになっています。全国的にもこの様な形を取っている自治体が多いように思います。松阪市でも窓口負担を無料で受診できる体制を取って、安心して受診できる体制を取ってもらえれば重症化を防ぐことができるのではないかと思います。</p> <p>三重県では鈴鹿市がこのような形を取られると報道がされておりました。このことについては、これまで国民健康保険の交付金がカットされるかも知れないということで足かせとなっておりました。窓口の無料化を行っている自治体では、医療費が増加してしまうのではないかと懸念されたためです。これまでも全国的に市町村からも、この交付金の足かせを無くしてもらいたいと要望が出ておりました。平成30年度からは未就学児に関して取り入れていくことになっています。平成29年度からその作業のためのシステム改修の予算を計上している自治体もあるようです。松阪市においても近い将来、このようなシステムが取り入れていくために今後、協議がなされていくと思います。</p>
	委員	<p>フッ化物洗口をやるだけではなく教育現場でどの様にむし歯予防対策をしていくかということが大切であると思います。学校歯科健診を始めて実施した三重県ですが歯科健診ではむし歯を減らすことができませんでした。おそらくフッ化物洗口を実施することでむし歯を減らすことができるのではないかと思います。そして、このような協議の場があったからこそ実施していくことができるのだと思います。</p>
	委員	<p>この協議会の大きな論点になったのがフッ化物洗口を学校で実施するのか、しないのかで、歯みがきをどの様にしていくのか、歯みがきをどのように指導していくのかといった議論はなされませんでした。国の政策をみましても、将来の子どもたちへの施策より高齢者問題への施策が多いとようです。次世代を担う子どもたちへの施策については誰かが声を上げていかなければいけないと思っています。将来、高齢者の介護を担っていくのも、子どもたちとなります。松阪市でこのような、子どもたちの健康づくりに関する協議の場を持っていたいただいたことに感謝しております。</p>

--	--	--

平成 28 年度松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会委員

No	氏 名	団 体 等	役職	備考
1	なが い まさ ひこ 長 井 雅 彦	松阪地区歯科医師会	会長	
2	つ だ まこと 津 田 真	松阪地区歯科医師会	副会長	
3	きた の すすむ 北 野 晋	松阪地区歯科医師会	理事	
4	すぎ やま ひろ き 杉 山 拓 紀	松阪地区歯科医師会	理事	
5	むら い とし ゆき 村 井 俊 之	松阪地区薬剤師会	理事	
6	うえ やま ゆき ほ 上 山 幸 穂	三重県歯科衛生士会松阪支部	支部長	
7	しま だ ふ み 島 田 富 美	三重県歯科衛生士会松阪支部	介護予防担当	
8	さかい やす とし 境 泰 利	松阪市 P T A 連合会	書記	平成 28 年度～
9	なか がわ る み 中 川 留 美	市民委員		
10	たけ うち しげ お 竹 内 茂 夫	松阪市立小学校長会	校長	徳和小
11	まる やま りゅう へい 丸 山 竜 平	松阪市立小学校	教諭	平成 28 年度～幸小
12	やま かわ えい こ 山 川 永 子	松阪市学校保健会養護部会	養護教諭	西中
13	おお た はる み 太 田 晴 美	松阪市立幼稚園長会	園長	平成 28 年度～鎌田幼
14	いの うえ み ほ こ 井 上 美 保 子	松阪認可保育園連盟	副会長	
15	すず き とも こ 鈴 木 智 子	松阪市立保育園長会	園長	
16	うえ しま かず むね 植 嶋 一 宗	松阪保健所	所長	平成 28 年度～
アドバイザー	なる せ のり ひこ 成 瀬 徳 彦	三重県健康福祉部	主幹	平成 28 年度～
栄養分野関係者	ば ば けい こ 馬 場 啓 子	元三重中京大学短期大学部教授	元教授	平成 29 年 2 月～

平成 29 年 2 月